

田舎モダン



開成町
kaisei town

開成町の概要

(平成 30 年5月発行)

開成町

目次

I	開成町について	
1	位置と地勢	5
2	沿革	5
3	町名の由来	5
4	開成町民憲章	5
5	町章・町の木・町の花	5
6	開成町の歩み	6
7	歴代町長	7
II	人口	
1	人口・世帯数の推移	8
2	人口増加率	8
3	年齢3区分別人口割合	8
III	土地利用	
1	土地利用	9
2	土地利用割合	9
3	市街化区域・市街化調整区域	9
IV	産業・観光	
1	産業	10
2	農業	10
3	観光	10
V	組織	11
VI	統計	
1	土地	
1-1	土地利用面積	12
1-2	都市計画区域・用途地域面	12
1-3	地目別評価総地籍	12
1-4	農業振興地及び農用地区域	13
1-5	地価公示(全国比較)	13
1-6	地価公示(経年比較)	13
2	人口	
2-1	世帯数・人口の推移	14
2-2	年齢三区分別人口、平均年齢及び老年化指数	14

2-3	人口増加率	15
2-4	人口動態①近隣自治体の状況	16
	人口動態②開成町の経年比較	16
	人口動態③年齢別人口動態	17
2-5	昼間流入・流出人口①開成町	18
	昼間流入・流出人口②県西地域各市町相互	18
	昼間流入・流出人口③昼夜間人口比率	19
2-6	町丁字別人口・世帯数	20
2-7	外国人登録者数	21
2-8	合計特殊出生率	21
	参考データ(人口推移・人口増加率)	22
	参考データ(年齢別人口と割合(市町村))	24
	参考データ(年齢別人口の推移(2市8町))	25
3	産業	
3-1	産業別就業者数	26
3-2	産業別事業者数及び従業者数	27
3-3	事業所数(経年比較)	28
3-4	年間販売額等	28
3-5	工場数、従業者数	29
4	農業	
4-1	農家数	30
4-2	農業就業人口(販売農家)	30
4-3	類別作付面積	30
5	家屋	
5-1	家屋数	31
5-2	着工建築物(用途別)	31
6	社会福祉	
6-1	要介護認定者数	32
6-2	生活保護の状況	32
6-3	身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳	33
6-4	国民健康保険給付状況	33
6-5	国民健康保険加入状況	34
6-6	保育所状況	34
6-7	後期高齢者医療被保険者数と医療費	35
7	水道	
7-1	上水道給水人口、給水量	36

7-2	下水道処理区域人口、面積	36
8	運輸・鉄道	
8-1	開成駅乗降人数	36
9	環境衛生・消防・救急	
9-1	ごみ処理状況	37
9-2	し尿処理事業郷	37
9-3	火災状況	37
9-4	救急業務出動件数	38
10	教育	
10-1	学校等の概況	39
10-2	学年別児童・生徒数	40
11	観光	
11-1	観光客数	41
12	財政	
12-1	会計別歳入・歳出決算額	42
12-2	一般会計科目別歳入決算額	43
12-3	一般会計歳出決算額	44

I 開成町について

1 位置と地勢

開成町は、神奈川県西部の足柄上地区中央部に位置し、東京から70km 圏内、横浜からも50kmの距離にあり、町域は東西1.7km、南北3.8km、総面積は6.55km²と県内で一番面積が小さな町です。

また、本町の東には酒匂川が流れ、西には箱根外輪山、南には相模湾、北には丹沢山塊を望むなど、自然に恵まれたなだらかな平坦地です。



2 沿革

天正18年(西暦1590年)の豊臣秀吉による小田原攻めに対し北条氏が降伏して、大久保忠世が小田原城主になると、開成町の旧村々は小田原城城付村となりました。その後、明治4年7月の廃藩置県により小田原県、同年11月には足柄県となり、明治9年4月に神奈川県になりました。

明治22年4月の町村制施行により岡野村、金井島村、延沢村、円通寺村、中之名村、宮台村、牛島村の7村が合併して酒田村が誕生しました。そして、昭和30年2月1日には、小田原藩当時から行政区域の変更もなく存続していた吉田島村と酒田村が合併して開成町が誕生しました。

3 町名の由来

明治初期から両村組合立で開設した開成小学校からとったもので、もともとは「学問、知識を開発し、世のため成すべき務めを成さしめる」という中国の言葉(開物成務)が語源です。

4 開成町民憲章

わたくしたちは、酒匂川の清流と緑と太陽に恵まれた開成町の豊かな自然を誇りとし、「開物成務」をめざした住みよいまちづくりに願いをこめて、ここに町民憲章を定めます。

- ◎ 自然とすまいの調和を大切にし、魅力あるまちをつくります。
- ◎ 恵まれた環境を守り、うるおいのあるまちをつくります。
- ◎ 教養を深めスポーツを愛し、文化の高いまちをつくります。
- ◎ ゆずりあう心で、ふれあいの輪が広がるまちをつくります。
- ◎ 健康をよここび勤労を尊び、いきいきとしたまちをつくります。

5 町章・町の木・町の花



町章
昭和31年2月1日制定



町の木「しいがし」
昭和48年7月19日制定



町の花「あじさい」
昭和52年6月6日制定

6 開成町のあゆみ

年	出来事
昭和 30 年 (1955 年)	酒田村と吉田島村が合併して開成町が誕生。
昭和 39 年 (1964 年)	足柄上衛生組合設立 広報かいせい第1号発行
昭和 40 年 (1965 年)	町内全域を都市計画区域に決定
昭和 43 年 (1968 年)	し尿処理業務開始(足柄上衛生組合) 上地区簡易水道給水開始
昭和 44 年 (1969 年)	下地区簡易水道給水開始
昭和 45 年 (1970 年)	町立開成幼稚園開設 開成町民センター竣工 新十文字橋開通
昭和 46 年 (1971 年)	足柄上消防組合発足
昭和 47 年 (1972 年)	北部地域を開成農業振興地域に指定
昭和 48 年 (1973 年)	開成小学校校舎竣工
昭和 50 年 (1975 年)	人口一万人到達
昭和 53 年 (1978 年)	かいせい音頭制定 農村基盤総合整備事業開始 文命中学校校舎竣工
昭和 54 年 (1979 年)	駅周辺地区の市街化区域拡大の計画決定 都市計画道路大井開成関本線の部分開通
昭和 57 年 (1982 年)	下水道事業開始 延沢西河原地区土地区画整理事業が完成 開成駅周辺地区土地区画整理事業施行に関する条例の施行
昭和 58 年 (1983 年)	水道第一期拡張事業開始 上島・金井島地区ほ場整備完了
昭和 59 年 (1984 年)	あじさい農道にあじさいを植栽
昭和 60 年 (1985 年)	開成駅、小田急線 68 番目の駅として開業 武永田水辺公園完成
昭和 61 年 (1986 年)	開成町民センター、保健センター竣工
昭和 63 年 (1988 年)	足柄大橋開通 自治会制度発足 第 1 回あじさい祭り開催 第 1 回開成秋まつり(阿波おどり)開催
平成元年 (1989 年)	公共下水道供用開始
平成2年 (1990 年)	町民憲章制定 町の木・花のデザイン、町のロゴマーク制定
平成 3 年 (1991 年)	足柄西部清掃組合設立

年	出来事
平成 6 年 (1994 年)	開成水辺スポーツ公園利用開始 第 1 回町パークゴルフ大会開催
平成 7 年 (1995 年)	ごみ焼却施設「足柄西部環境センター」完成
平成 9 年 (1997 年)	開成駅周辺地区土地区画整理事業が完了
平成 11 年 (1999 年)	自転車利用環境整備モデル都市に選定
平成 12 年 (2000 年)	足柄上消防組合と南足柄市消防が統合し足柄消防組合が設置される 町環境基本条例施行 グリーンリサイクルセンター完成
平成 13 年 (2001 年)	「瀬戸屋敷」の母屋と土蔵を町重要文化財 1 号に指定 第 1 回スポ・レクフェスティバル開催
平成 14 年 (2002 年)	県道山北開成小田原線が開通
平成 15 年 (2003 年)	開成駅に箱根登山バス(株)、富士急湘南バス(株)が乗り入れ開始
平成 17 年 (2005 年)	人口 1 万 5 千人到達 あしがり郷瀬戸屋敷開園
平成 19 年 (2007 年)	台風9号により十文字橋落橋 南部地区の市街化区域編入
平成 20 年 (2008 年)	あじさいのまち開成自治基本条例施行
平成 21 年 (2009 年)	第 1 回風鈴まつり開催 開成町きれいなまちをつくる条例施行
平成 22 年 (2010 年)	開成南小学校開校 台風 9 号により開成水辺スポーツ公園冠水
平成 25 年 (2013 年)	消防事務を小田原市に委託
平成 26 年 (2014 年)	足柄紫水大橋開通 都市計画道路山北開成小田原線暫定開通
平成 27 年 (2015 年)	あじさい公園発電所竣工 町内巡回バス試行運転開始 「開成みなみ」町びらき式
平成 28 年 (2016 年)	開成町駅前子育て支援センター開所 開成町駅前窓口コーナー開設
平成 29 年 (2017 年)	あしがり郷瀬戸屋敷に指定管理者制度を導入 町内巡回バス本格運行開始

6 開成町のあゆみ(続き)

<進出企業・工場(主なもの)>

年	進出企業・工場
昭和31年 (1956年)	足柄工学(株)
昭和37年 (1962年)	開成工業(株) 日本防蝕(株) 日本建材工業(株)
昭和38年 (1963年)	(株)明治ゴム製造所(現(株)明治ゴム化成) 神奈川工場 山陽スコット(株)(現日本製紙クレシア(株)) 開成工場・開成通産(株)
昭和39年 (1964年)	エースカバン(株)(現エース物流サービス (株)小田原第一・第二センター)
昭和41年 (1966年)	玉川ダイカスト工業(株)(現(株)タマダイ)
昭和44年 (1969年)	南開工業(株)
昭和45年 (1970年)	富士ゼロックス(株)竹松事業所 トルク工業(株)開成工場
昭和49年 (1974年)	(株)井上精工
昭和54年 (1979年)	(株)小田原エンジニアリング
昭和56年 (1981年)	富士写真フィルム(株)宮台開発センター
平成6年 (1998年)	パナック工業(株)開成工場
平成16年 (2004年)	(株)メイジフローシステム
平成18年 (2006年)	富士フィルム(株)先進研究所
平成29年 (2017年)	(株)柴橋商会 西湘工場

7 歴代町長

氏名	在任期間
瀬戸 格	昭和30年(1955年)2月20日～ 昭和34年(1959年)2月19日
辻村 君造	昭和34年(1959年)2月20日～ 昭和38年(1963年)2月19日
露木 甚造	昭和38年(1963年)2月20日～ 昭和58年(1983年)2月19日
井上 伝蔵	昭和58年(1983年)2月20日～ 昭和62年(1987年)2月19日
山神 輝	昭和62年(1987年)2月20日～ 平成2年(1990年)1月9日
山本 久雄	平成2年(1990年)2月25日～ 平成10年(1998年)2月24日
露木 順一	平成10年(1998年)2月25日～ 平成23年(2011年)3月24日
府川 裕一	平成23年(2011年)4月24日～

Ⅱ 人口

1 人口・世帯数の推移

開成町が誕生した昭和30年には、人口4,466人、世帯数801世帯の農村地帯でしたが、温暖な気候と交通網の発達により、近年は住宅地として、また農・商・工の調和のある都市として発展しており、平成27年国勢調査では、人口17,013人、世帯数6,169世帯となっています。

《国勢調査》

	人口	世帯数
昭和30年	4,633人	801世帯
昭和40年	6,065人	1,286世帯
昭和50年	9,972人	2,492世帯
昭和60年	11,227人	3,014世帯
平成2年	11,941人	3,355世帯
平成7年	12,698人	3,827世帯
平成12年	13,396人	4,208世帯
平成17年	15,123人	5,035世帯
平成22年	16,369人	5,749世帯
平成27年	17,013人	6,169世帯

2 人口増加率

平成22年国勢調査から平成27年国勢調査までの5年間の人口増加率は、3.9%で、県内市町村の中では最も高い人口増加率となっています。

平成17年国勢調査から3回連続で、人口増加率が県内市町村で1位となっています。

3 年齢3区分別人口割合

平成27年国勢調査では、総人口に占める0歳から14歳までの人口(年少人口)の割合は、15.3%で、県内市町村の中で1位となっています。

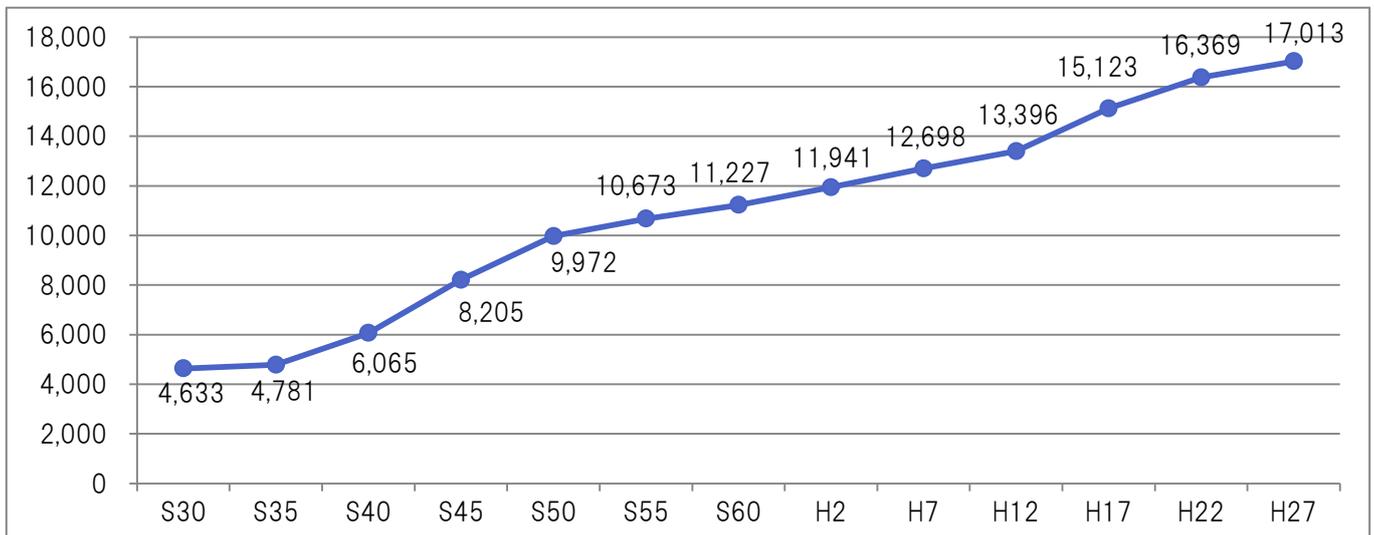
年少人口は、前回調査から31人減少(0.8ポイント低下)しましたが、依然として神奈川県内の市町村の中では子どもが多い町となっています。

65歳以上の人口は、前回調査から741人増加し、4,259人となりました。

町の総人口に占める65歳以上の割合は前回調査から3.6ポイント上昇し25.1%となり、4人に1人が65歳以上となっています。

《年齢3区分別人口》

	平成22年	平成27年
年少人口 (0歳～14歳)	2,629人 (16.1%)	2,595人 (15.3%)
生産年齢人口 (15～64歳)	10,217人 (62.4%)	10,125人 (59.6%)
老年人口 (65歳以上)	3,518人 (21.5%)	4,259人 (25.1%)



Ⅲ 土地利用

1 土地利用

限られた土地を有効に活用し、良好な生活環境を構築するため、町域を北部地域・中部地域・南部地域の3つに区分し、計画的な土地利用を進めています。

《北部地域》

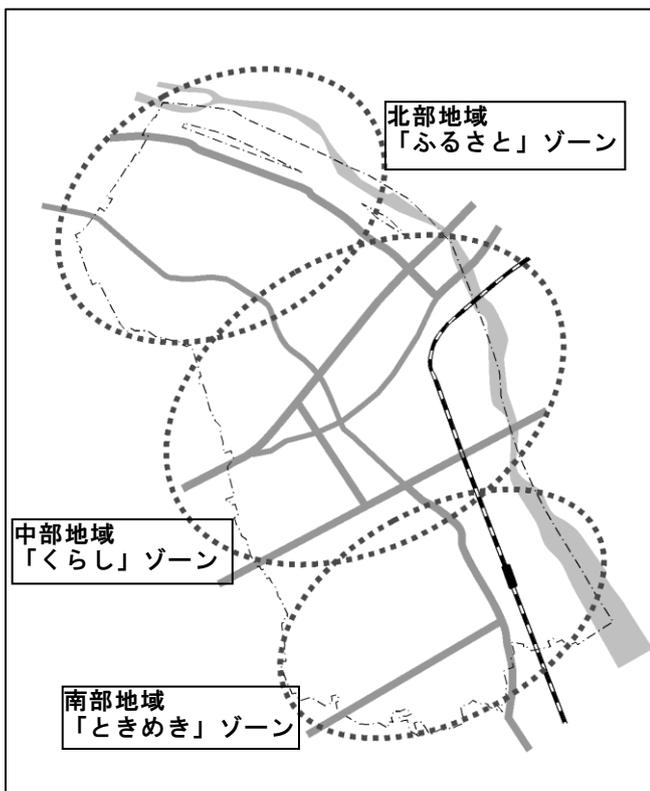
全域が市街化調整区域であり、そのほぼ全域が農業振興地域に指定されており、優良農地の保全に努めるとともに、都市近郊農業地帯として土地利用を進めています。

《中部地域》

ほぼ全域が市街化区域であり、住宅地を中心に、商業施設、工業施設、公共施設などが集まり、生活圏における多面的な役割を担っています。

《南部地域》

小田急線開成駅を中心とした広域交流拠点として新市街地の形成を進めています。



2 土地利用割合

開成町では、都市化が進み、農地は減少し、宅地が増加しています。

平成28年度には、町の面積の約3分の1が宅地となっています。

3 市街化区域と市街化調整区域

町域の中央部と南部の一部に市街化区域が指定され、都市計画道路関本開成大井線沿道と開成駅周辺に商業系用途地域が位置付けられています。

北部の市街化調整区域は、農業振興地域の農用地としてされ、良好な農地が保全されています。

《用途地域別面積》

	面積(ha)	市街化区域内での割合	町全体での割合
市街化区域	284	100.0	43.4
第一種低層住居専用地域	20	7.0	3.1
第二種低層住居専用地域	35	12.3	5.3
第一種中高層住居専用地域	39	13.7	6.0
第一種住居地域	128	45.1	19.5
近隣商業地域	15	5.3	2.3
商業地域	3.4	1.2	0.5
準工業地域	9	3.2	1.4
工業地域	19	6.7	2.9
工業専用地域	15	5.3	2.3
市街化調整区域	371	—	56.7
総面積	655	—	100.0

《土地区画整理事業》

地区名	施工年度	施工面積
開成駅周辺地区	S57～H8	26.46ha
開成駅屋敷下南地区	H6～H13	2.69ha
開成駅屋敷下地区	S60	3.26ha
開成駅道通河原地区	H3～H4	0.91ha
開成駅東口D地区	H10～H12	3.96ha
延沢西河原地区	S55～S57	3.82ha
松ノ木河原地区	H14～H18	5.73ha
南部地区	H19～H27	26.7ha

IV 産業観光

1 産業

平成26年経済センサス-基礎調査では、開成町の事業所数は683で、そのうち81.5%を第三次産業が占めています。

製造業では、工業用ゴム、家庭用紙、ダイカスト製品等の工場が町内に立地しています。

民間研究機関が立地している影響から、開成町の従業者に占める「学術研究、専門・技術サービス業」の従事者割合が22.7%と高くなっています。

	事業所数	従業者数
第一次産業	3	19
A 農業、林業	3	19
B 漁業	—	—
第二次産業	92	1,346
C 鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
D 漁業	57	288
E 製造業	35	1,058
第三次産業	562	5,278
F 電気・ガス・熱供給・水道業	2	16
G 情報通信業	7	141
H 運輸業、郵便業	13	244
I 卸売業、小売業	131	1,186
J 金融業、保険業	7	48
K 不動産業、物品賃貸業	151	326
L 学術研究、専門・技術サービス業	19	1,676
M 宿泊業、飲食サービス業	70	439
N 生活関連サービス業、娯楽業	57	160
O 教育、学習支援業	36	402
P 医療、福祉	59	977
Q 複合サービス業	2	21
R サービス業(他に分類されないもの)	23	129
S 公務(他に分類されるものを除く)	11	241

2 農業

2015年農林業センサスでは、開成町の総農家数276戸のうち、販売農家が143戸(専業農家40戸・兼業農家103戸)、自給的農家が133戸となっています。稲作が中心で、いも類や野菜等も作られています。

農業所得を従とする第2種兼業農家が、販売農家の65.0%を占めています。

3 観光

●施設

《あしがり郷瀬戸屋敷》

この地域の名主を代々勤めてきた瀬戸家のお屋敷。約1800坪の屋敷内には茅葺の大きな主屋、土蔵などがあり、ひなまつり、端午の節句、七夕など伝統的な年中行事を再現しています。

《開成水辺スポーツ公園》

酒匂川のほとりにある総合スポーツ公園。関東で最初のコースが設けられたパークゴルフをはじめ、サッカー、野球、ソフトボールなど多目的に利用でき、季節ごとの美しい草花も楽しめます。

●イベント

《開成町 瀬戸屋敷ひなまつり(3月)》

築300年の古民家「瀬戸屋敷」で行われるひなまつりには、江戸時代の風情がいっぱい。地元の蔵から発見された300年前の「享保雛」や瀬戸屋敷収蔵のひな人形の数々、婦人会手づくりの「つるし雛」7000個以上を展示。

《開成町 あじさいまつり(6月)》

東京ドーム約3.6個分の広大な水田地帯の中に、あじさいが5000株。田植えをしたばかりの緑に染まった田んぼと、虹色に咲き誇るあじさいに見とれながら、カタツムリになった気分がゆつくりと散策してください。

《開成町 納涼まつり(8月)》

夏のおわりをしめくくる納涼まつり。風が吹き抜ける気持ちのいい川辺で、食べたり飲んだり、音楽を聴いたり、芝生に寝ころんだり。フィナーレはほぼ真上に打ちあがる迫力の花火。夏のおもいでがギュッと詰まった一日です。

《開成町 阿波おどり(9月)》

自治会や事業所ごとに一致団結した町内連をはじめ、町外連も参加し、約1000人の踊り手が役場周辺の道路を練り歩きます。東日本でいちばん小さな町が一年でいちばん熱くなる夜に、きっとあなたの心も踊り出します。

V 組織

開成町行政機構図(平成 30 年4月1日現在)

